



ディスク媒体

今後、ますます高まる情報機器の高性能化・大容量化ニーズに対し、強みとする高信頼性技術をはじめとした最先端テクノロジーにより、業界最高水準の大容量ディスク媒体の市場投入を図ります。

また、グローバルな生産革新活動、サプライチェーン改革活動の展開により、抜本的な総経費圧縮・コストダウンに取り組み、市場変動に強く、安定的な収益を上げることのできる事業体質を構築していきます。



セグメントの有する優位性

HDDのキーコンポーネントであるディスク媒体の大容量化を実現するための、高度な薄膜成形スバッタリング技術や超平滑加工技術など独自の先端技術を有しています。また、国内外2拠点の工場はともに、最新鋭の生産設備と高い生産技術を有しており、業界最高水準の高品質ディスク媒体の提供を可能としています。

	2009年度	2010年度見通し	増減
売上高	444	550	+106 (+23.9%)
営業利益	-74	10	+84 (—)

億円

市場環境

2009年度前半は世界的な市況悪化の影響を受けたものの、年度後半からはノートPC「ネットブック」の流行という牽引材料に加え、Windows7®の発売も追い風となり、中国・アジア地域など新興国を中心にノートPCや外付けHDDの需要が急回復しました。これらを背景としてHDD市場も順調に推移しており、2010年度も対前年10%以上の高い成長が見込まれています。

2010年度の部門方針・戦略

競争力の要となる研究開発にリソースを集中し、顧客HDDメーカーとのオープンイノベーションを駆使した最先端技術開発と独自の高信頼性技術により、市場ニーズにマッチした

大容量ディスク媒体をいち早く製品化していきます。大容量化に向けては、複数機種間における共通の技術プラットフォームを活用した製品開発の推進により、開発の効率化と製品化のスピードアップを図ります。

また、安定的な受注獲得に向けて主要顧客とのパートナーシップ強化を推し進めると同時に、生産革新活動・サプライチェーン改革活動の徹底的な推進により生産性の向上を図り、顧客ニーズに的確かつスピーディーに対応する体制を強化して確実な製品供給を実現していきます。

加えて、引き続き総経費圧縮、コストダウンによる損益分岐点引き下げに取り組み、市場変動に強い安定・高収益体質の構築を目指します。